

第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

松山市立北中学校 教諭 中原 直子

1. 単元名 「We are henro 52」

2. 単元の目標

- 校区内にある太山寺・経が森について知り、自分たちができることは何か考え、まとめることができる。 (知識・技能)
- 自分で調べた情報や、話を聞いたり、実際に場所を訪れることを通して課題を見出し、自分の故郷にある太山寺・経が森を守るための方法を考えたり、考えたことについて号外くんを作成し、伝えることができる。 (思考力・判断力・表現力)
- 太山寺・経が森を大切にし、守りたいという目的意識をもち、意欲的にお寺の人と関わったり、太山寺・経が森について学んだことを号外くんにまとめたりすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では「地域の人との出会い」、「自分たちの故郷にある太山寺・経が森を守るために自分たちができることをまとめたポスターづくり」を教材として取り上げる。

太山寺のお寺の住職を招き、自分たちの身近にあるお寺の歴史を聞くことで、その活動への意欲を高めることができる。また、公民館等とも協力し、このあたりの歴史を話してもらい、太山寺・経が森だけでなく、周辺のことを把握したり、これからの活動に具体性をもたせたりすることが期待できる。さらには、教員以外の大人と接することで、人とのつながりの大切さや、コミュニケーションスキルを向上させることもできる。また、実際に太山寺・経が森を訪れ、自分で自分のふるさとを目で見て感じることによって、さらなる学習意欲を持たせたい。

また、太山寺は四国八十八ヶ所巡り第五十二番札所にも選ばれていることを取り上げる。このことを通して、四国八十八ヶ所めぐりの内容を調べ、理解するとともに、得た知識をもとに自分たちの故郷にあるお寺を守っていくためには何ができるかを考えたり、その考えをポスター形式にまとめたりするなどして、より自分たちの地域について興味をもって活動できるようになる。

(2) 生徒観

本校では、以前にも太山寺・経が森をめぐる地域めぐりを行っているが、近年は感染症の影響もありそういった活動を全く行っていなかった。小学校時代も同じ状況であり、生徒たちには経験がない。学級では、真面目に学習に取り組み、話を聞き、意欲を持っていろいろな活動に取り組んでいる。地域に対してもお祭り等行事には参加する生徒もいるが、その他のことには関心が薄い、または知らない。

自分たちの住んでいる場所を大切に思う心はあるので、この機会に自分たちの住んでいる場所のすばらしさを感じさせたい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず始めに有名な観光地の例をあげながら、自分たちの住んでいる地域で一番人が集まるところはどこかを考えさせる。そこから太山寺・経が森について調べさせ、知識を付けさせたい。また、それと関連付けて四国八十八ヶ所巡りを連想させ、それについての知識も付けさせたい。その上で、なぜこのようにずっと昔からあるものが今現在も存在するのか、誰がこの状態を保っているのか、地域の人たち、お寺の人たちの思いに気付かせたい。

その他にもお寺の住職さんを学校に招いて話を聞いたり、実際に太山寺・経が森を訪れたりすることによって、自分の地域にある大切なものを守りたいという気持ちを抱かせたい。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

- ・多様性…自分たちの地元には、地域で守り、受け継いでいかなければならない風景、場所があるということ。
- ・有限性…今まで長く守られている場所や自然、風景も、限りがあるかもしれない。
- ・連携性…ここに住んでいる全員がその良さに気づき、大切さを感じ、それをこれから先も引き継いでいきたいと思う気持ちが必要。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

コミュニケーションを行う力

どうしたら自分たちの故郷にある太山寺や経が森を守っていけるのか、意見交流等を通して考えをまとめる。また、文字だけでなく、写真や絵、その他の方法で発表方法を工夫し、自分の思いを伝えることができる。

他者と協力する態度

地域の人やお寺の住職さんからの話を聞いたりして、彼らと一緒に地域を守っていききたいと思う気持ちを育てる。また、友人や家族等とも話をし、自分の周りの人たちとも一緒に地域を守ろうとする気持ちを育てる。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

自然環境、生態系の保全を重視する

美しい地元の自然や風景を守るためには、自分たちの努力が必要である。

世代内の公正

自分たちだけでなく、どの世代の人たちにも大切さを感じてほしい。

人権・文化を尊重する。

今まで守ってきた文化を、これからも引き続き大切にしていかなければならない。

・達成が期待される SDGs

1 1 住み続けられるまちづくりを

1 5 陸の豊かさも守ろう

4. 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
①校区外にある太山寺・経が森、四国八十八ヶ所巡りについての情報を理解している。 ②学んだり、調べたりして獲得した知識を、言葉や図、絵などを用いてそれらに関係づけながらまとめる技能を身に付けている。	①資料をもとに課題を見だし、自分たちのふるさとにある大切なものを守るための方策を考えることができる。 ②大切な場所を守るために学んだことや考えたことを号外くんに表現している。	①自分たちのふるさとにある大切なものを守り、これから先の世代にも引き継いでいきたいという目的意識をもち、意欲的に調べ学習をしたり、地域の人たちと関わろうとしている。 ②実際に太山寺・経が森を訪れ、自分の目で現状を確かめ、自分にできることを模索しようとしている。 ③自分が学んだことを地域の人たちにも知ってもらい、協力してもらえようように発信しようとしている。

5. 単元の指導計画（全14時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
1 他の観光地を例にして、自分の地域について調べ、知る。 ・四国八十八ヶ所巡りの第52番札所である。 ・豊かな自然に囲まれている。 ・鎌倉時代に建てられた国宝の本堂が残る。 ・瀬戸内海の絶景を見下ろせる山である。	○太山寺・経が森の写真等を提示し、まずは自分の地区のすばらしさについて気づかせる。その場所について調べ、歴史等について理解させる。	ア① (知・技) ウ① (主体的)

<ul style="list-style-type: none"> ・太山寺の奥の院とも呼ばれている。 ・ハイキングがてら参拝に来る人もいる。 ・途中で句碑もいくつかある。 		
<p>2 実際に太山寺・経が森を訪れ、自分の目でふるさつを見つめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に見ると、思っていたよりも壮大だ。 ・本当に美しい場所だ。 ・この美しさを残したい。 ・これからもたくさんの人に訪れてほしい。 ・自分の地元にはいい場所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○太山寺・経が森を散策する。 ○自分が思う魅力を散策している間に見つけられるように支援する。 ○自分の目で確かめることによって自分たちが受け継いでいるこの状況をこれからも続けたいと気付かせる。 	<p>ウ①② (主体的)</p>
<p>3 太山寺のご住職を学校に招いてお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見ただけ、調べただけではないことがあったんだなあ。 ・こんなに大切に思っている人がいるんだなあ。 ・その思いを自分たちが引き継いでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ご住職に仕事の内容や、お寺の歴史、自分の思いを話してもらおう。 ○話を聞いてさらなる知識を付けるとともに、地域の人にもこの素晴らしさを知ってもらうための方法を考えさせる。 	<p>ア① (知・技) ウ① (主体的)</p>
<p>4 「号外くん」を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身近にありすぎて気付かなかった素晴らしい場所をたくさんの人に知ってほしい。 ・調べて分かる知識だけでなく、自分の目を見たことや、住職さんの話も含めて、魅力的な内容にしよう。 ・完成したものを近所みんなが利用する場所に貼ろう。 <p>5 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この地域に住む人たちみんなが大切さに気付いてほしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの地域の大切なものを守るために、自分ができることは何かを考えさせるようにする。 	<p>ア② (知・技) イ② (思判表) ウ③ (主体的)</p>